

The Learner

Doshisha International Academy, Elementary School

May
ISSUE



May 7, 2019

Volume 91

Message from the Vice Head of School

5月に入ります。今年は10連休となる長いゴールデンウィークですが、新学期が始まり、新しい環境の中で気を張って3週間を過ごしたあとの暫しの休息という意味も込めて、有意義に過ごしていただいたのではないかと考えております。

また、5月からは新しい元号になりました。この「令和」という元号に込められている意味や出典については、すでにいろんなところで語られていますが、何か新しい時代になるんだという空気感が漂っており、その意味で、我々も気持ちを新たに進んでいければと考えます。ただし、同志社では、キリスト教主義、国際主義の観点から、西暦を使用していることも合わせて申し添えておきます。

さて、今年度の初等部は、先に認定された国際バカロレアのPYP校としての第一歩を踏み出す年になります。この世界標準の教育プログラムをより充実したものにする為には、これまでの学びを再度点検し、ブラッシュアップし、その内容については保護者の皆さんにもお知らせし、Learning communityを形成して参りたいと考えております。さらに、今年度からは英語の授業において、テキストを使用し、より系統生のあるカリキュラムを作りあげていきます。さらに、低学年を中心に、これまでの英語経験を考慮した、language supportもスタートいたします。このような取り組みを進めるにあたり、保護者の皆様にはご協力を賜ることも多くなるかと思いますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

いつの時代も教育は、これからの時代を担う人材の育成という意味から、新しい視点に立っての改革が繰り返されてきました。最近の流れとしては、ICTやAIの発達により、既存の知識だけでは役に立たない社会になり、困難を乗り越えていく新しい学びの力が必要だ。という論調が主流になってきています。不確実な未来。しかし、時を150年前に戻すと、江戸から明治になった当時の日本も、まさに新しい時代を迎えようとした時期でした。それは、同志社の校祖、新島襄が日本を脱国し、これからの日本はどうあるべきか一心不乱に学んだ時期でした。その新島が1884年にアメリカから同志社に宛てた手紙の一節をご紹介します。

「信仰を以って学校の基礎となし 學術を以って左右の翼とせよ」

また、新島は学問を修める意味を説く話の中で、「学ばないものは、自由をうばわれる。」という言葉も残しています。

自由主義を掲げる同志社にとって、常に最新の学問を修め、何が善なのかを正しく判断する為には、学ぶことがいかに大切かを我々に伝えています。今後もこの新島の言葉を胸に一歩ずつ前進してまいります。

副校長 城 恵市





キリスト教 教育テーマ

5 月：尊敬 May : Respect

「また、天の国は、良い真珠を探している商人に似ている。」

(聖書協会共同訳 マタイによる福音書 13 章 45 節)

ワンダ・ガアグという絵本作家の作品に、「100まんびきのねこ」というのがあります。

ある老夫婦が、二人だけでは寂しいのでペットに猫を飼うことにします。「かわいい ちいさい ふわふわしたねこ」というおばあさんのリクエストに応えようと、おじいさんは丘を越え、谷間を通り、はるばると猫だらけの丘へやって来ます。そこはまさしく猫の国のような所で、百万匹以上もの猫がいました。最初は一番綺麗な猫を一匹だけ選んで連れて返るつもりだったおじいさんですが、次々と目移りがしてどれも捨て難くなり、結局そこにいる猫全てを引き連れて、家に帰ってきてしまいました。

驚いたのはおばあさんです。猫が一匹ほしいと言っただけなのに、家の戸を開けると百万匹もの猫がおじいさんの後から大行列をなしているのですから。そこで慌てて「こんなにたくさん猫にご飯はやれない。」と言いました。

それもそうだとすることで、二人はしばらく思案した後、どの猫を家に置くかは猫たち自身に決めさせることにしました。それはつまり、一番綺麗な猫を猫たちが自分で選ぶ、ということです。

どの猫もみんな自分が一番綺麗だと自負していたので自ずとけんかになり、やがてそれは共食いにまで発展します。しまいにはそこらに猫が一匹もいなくなってしまい、「惜しいことをした。」と思ったおじいさんとおばあさんでしたが、ふと草の間にぽつんと座っている、痩せこけた小さな猫を見つけます。

この猫は、自分がただのみっともない猫であることがわかっていたので、「どの猫が一番綺麗か」と問われた時、何も言わずに黙っていました。それでこの猫だけは誰からも構われず、命拾いしたというわけです。

たった一匹残ったその猫を、おじいさんとおばあさんは家の中へ連れて行き、お湯で洗って、よくこすってやりました。すると猫の毛は柔らかく、ふわふわになりました。それから毎日たっぷりミルクを飲ませているうちに、いつのまにか子猫は可愛らしいまるまるとした猫になっていたのです。おじいさんとおばあさんは大変満足し、「やっぱりこの猫が世界中で一番綺麗な猫だった」と思うところで、お話は終わります。

このお話のおじいさんとおばあさんは、痩せてみっともない子猫が美しく変貌した時に初めて、その猫が本来持っていた貴重な価値に気がつくりますが、聖書の中のイエス様は、人間を最初から「良い真珠のように輝いて然るべきもの」として、取り扱っておられました。そのことがよくわかるのが、有名な「徴税人ザアカイ」のお話です。徴税人というのは当時、ローマ政府あるいは領主から税金の取り立てを委託されていた役職のことですが、同じユダヤ人でありながら圧政者たちの手先となって働き、しかも割り当てられた税額以上のお金を取り立てて私腹を肥やしていたので、同胞からは大変嫌われ、軽蔑されていました。

彼の人生に大きな転機が訪れたのは、野次馬根性で木に登ってイエス様を眺めていたザアカイにイエス様が目を留められ、お声を掛けられた瞬間でした。

「ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日は、あなたの家に泊まることにしている。」

この言葉が突如彼の心に光のように差し込み、身体全体を熱くしました。もう他のユダヤ人たちがたたく陰口など、耳に入りません。イエス様が他ならぬ、この私にお声を掛けてくださった。私の家の屋根の下に来て、一緒にご飯を食べてくださる。イエス様は私のことを嫌ったり、軽蔑したりしておられない！そう思うと、心が喜びでいっぱいになったのです。結果、ザアカイは全く新しい人として生まれ変わりました。

神さまは本来被造物を、信頼されればその信頼に、愛されればその愛に、応えていこうとする存在として創造されたのです。

Christian Education Committee 石川眞弓

{参考図書}「100まんびきのねこ」 世界傑作絵本シリーズ ワンダ・ガアグ 文・絵 石井桃子 訳 福音館書店 1961
<お知らせ>

今月の「おにぎり献金」…5月14日(火)ランチタイム時に行います。宗教委員が献金箱を持って各クラスを回りますので、ご賛同いただける方はお子様に献金をお持たせください。



図書館でこそ情報活用教育を

学校図書館は、様々な資料・情報の活用を通して子どもたちの「自ら学ぶ力」をはぐくむ学習・情報センター、読書を通して子どもたちの豊かな人間性をはぐくむ読書センターとして、その役割が大いに期待されています。様々な資料(情報)を構築している図書館でこそ、その使い方、情報のまとめ方を身につける情報活用教育がなされなければなりません。

4月！子ども達の図書館の利用の始まりのオリエンテーションで高学年である5、6年生に思考シートを使った情報活用教育のひとつを司書教諭が実施しました。

題して「テーマを絞ろう！」です。子ども達は何かを調べたくて図書館にやってきますが、それが上位概念である「環境」「植物」などの漠然とした大きなテーマであると、その探究は海の中に投げ入れた小石を探すがごとくとても大変なことになってしまいます。調べる際にテーマを出来るだけ下位概念(具体)にすることが大切です。そこで、『マンダラシート』(3×3の9マスの表で、アイデアを深めるために使う)を使ってみました。中央に自分が調べたいテーマを入れ、そこから連想する言葉を外側のマスに入れていきます。8つすべて書き込めなくてもいいし、百科事典を使ってその定義から連想していてもいいことも伝えました。(この時、合わせて百科事典の使い方も復習しました。)そして更に、外側のマスに書いた言葉から自分の興味のある言葉をひとつ選んで新たなマンダラシートの真ん中に書き、今度はその言葉から連想する言葉で外側を埋めていきます。そうすることで、最終的にはより具体の自分のテーマとなるべき言葉をひとつ決めていくのです。

テーマを決めよう

マンダラシート (関係のある言葉を書き出してみよう) 学校図書館ワークシート

月 日 年 組・名前

1	2	3
8	テーマ	4
7	6	5

図書館ではこのように探究シートを各種準備しています。ご利用ください。

そこまでテーマを絞ることで、資料に当たる時により具体となり、探しやすくなります。合わせて、資料を使った時には必ずその題名、著者名、出版社、引用箇所等を記録しておく必要があることを伝えました。

DIA LibraryではBibliographyシートも用意しています。

Bibliography (国交文庫、朝倉文庫などの文庫リスト) DIA Library

氏名

Title 本の名称

Author/Article 著者/著者(氏名)

Publisher 出版社

Page 巻数、引用したページ

DIA LibraryはDIAの子ども達の探究の学びをしっかりと支援していきたいと思っています。図書館として子ども達に必要な最新の情報がいつでも提供できるようにアンテナを張り巡らせて選書していきたいと思っています。 司書教諭 上里 久美

5月の主な行事・予定

1	Wed	即位の日
2	Thu	国民の休日
3	Fri	憲法記念日
4	Sat	みどりの日
5	Sun	こどもの日
6	Mon	振り替休日
7	Tue	Unit1(week3)
8	Wed	G5 校外学習 尿検査 (未提出)
9	Thu	G4 校外学習
10	Fri	
11	Sat	土曜参観 全体コミュニケーションタイム きずな会総会
12	Sun	
13	Mon	Unit1(week 4)
14	Tue	PM 内科検診 (G3/G4) G1 校外学習
15	Wed	
16	Thu	Swimming (G5/G3/G4)
17	Fri	
18	Sat	第1回学校説明会 (登校日)
19	Sun	
20	Mon	Unit 1 (week5)
21	Tue	
22	Wed	PYP プラン (午前授業)
23	Thu	Swimming (G5/G3/G4)G2 宿泊学習
24	Fri	G2 宿泊学習
25	Sat	
26	Sun	
27	Mon	Buffer Week
28	Tue	PM 内科検診 (G1/G2)
29	Wed	
30	Thu	Swimming (G5/G3/G4)
31	Fri	

6月の主な行事・予定

6/8(土)	私小連音楽会
6/12(水)	G5進学説明会
6/18(火)~21(金)	G4宿泊学習
6/25(火)	G6第2回修学旅行説明会(PM)

NEW STAFF AT DIA!

赤木 栄実子先生 (1年2組)

はじめまして！1年2組の担任になりました赤木栄実子（あかぎえみこ）です。これから子どもたちとたくさんの時間を共有していきたいと思います。遊びも学びも全力で！明るく活気のある、そして人の心を思いやることのできるクラス作りをしていきます！！
どうぞ宜しくお願い致します。



春名 透先生 (2年2組)

皆さんはじめまして。2年2組担任の春名透です。好きなスポーツは野球とサッカーとテニス、好きな動物は鳥全般と猫で、趣味は歌うことです。大学ではソフトボールとアカペラのサークル活動をしていました。

2年2組では、人の話をしっかり聴くという意識を根底におき、一人ひとりが理想の学習者像に近づける学級を目指して、日々の活動に取り組んでいます。子どもたちも自分自身も、1年間を振り返ったときに「楽しかったな」「成長できたな」と思えるように、まずは1日1日を大切に過ごしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



塩井 里咲先生 (3年2組)

はじめまして。今年度3年2組の担任をさせていただくことになりました、塩井里咲です。思いやりを持って協力しあえるクラスを目指して学級経営に取り組みたいと思っております。

DIAの特色ある教育を通して子どもたちが学び、成長していく姿を見守っていきたくです。そして、自分自身もさまざまなことに取り組み、成長していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



齊藤 尚記先生 (4年2組)

はじめまして。4年2組の担任をさせていただくことになりました、齊藤尚紀です。小学校の時に得意だった教科はEnglishとPEで、不得意だった教科は国語です。

元気で、明るく、活気のある4年2組にしたいと思っています。自分自身も学ぶ姿勢大切に、子ども達と一緒に成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



石川 翼先生 (5年2組)

初めまして。5年2組の担任の石川翼 (いしかわつばさ) です。私は「教えることは学ぶこと」を信念としております。子どもたちに教える一方で、常に子どもたちから多くのことを学んでいます。子どもたちと共に学び、共に喜び、そして共に成長していけることを嬉しく思います。

子どもたちには英語も日本語も「ことば」を大切にしてもらいたいと思っています。言われたらいやだなと思う「学級からなくしたい言葉」、言われたらうれしくなる「学級にあふれさせたい言葉」を意識させ、コミュニケーションが上手に図れる学級を作っていきたいです。

また、子どもたちをほめることに教育の大きな力があると感じています。些細なことでもいいところは学級の中で取り上げ、子どもたちをほめ続けます。小さな成功体験を重ねることで子どもたちは自信を持ち、成長していくと信じています。

どうぞよろしくお願いたします。



